

校長室だより

第35号

発行日 2009年 8月26日

発行者 桐光学園小学校長 斎藤 滋

夏休みが終わり、学校での生活が始まりました。8月25日は数名の欠席者はいましたが、朝会で体育館に集合した子どもたちからは元気な表情が見られました。

さて、新型インフルエンザの感染が予想をはるかに超える勢いで広がっています。夏休みが比較的早く終わる東北、北海道では休校や学級閉鎖とする学校が多いようです。大勢の子どもたちが集まる学校では、感染の広がりも速いと考えられるため、予防には力を入れなければなりません。

手洗い、うがいをしっかりと行うことを基本とし、マスクの着用なども心がけたいものです。また、ハンカチなども頻繁に取り替えることができるとよいでしょう。

【お知らせ】

現在4年2組の副担任をしております森本（佐藤）祐子が9月9日から産休、育児休業となります。来年度後期からの復帰を予定しておりますが、その間（とりあえず年度内）は、現在英語の担当をしております麻生靖代が副担任の仕事に兼務することにしますのでよろしく願いいたします。

【サマーキャンプ】

7月に3、4年生のサマーキャンプがありました。今年は私も同行することができました。現地では、飯盒炊爨、ハイキング、体験活動（3年生はうどん作り、4年生は木工作業と森の探索）などがあり、有意義な時間を過ごすことができました。

私は3年生と4年生の班を一つずつ担当させてもらいました。友だちといつも一緒にいることを楽しんでいる子どもたちでしたが、荷物の整理や布団の上げ下ろしなどはどうもあまり得意ではなかったようです。3日間で使う衣類や生活用品を自分の力できちんと管理するのはなかなか難しく、ましてや普段やり慣れない布団の上げ下ろしなどは苦戦というか形になっていないというかそれはもう大変な状態でした。それでも、敷布団、シーツ、枕、掛け布団という順番を覚えることができたことは今後に生かせるのではないのでしょうか。

【片付け】

テーマにあげた片付けの力について日ごろ感じるがあります。小学校では1年生から6年生までの子どもたちがほぼ同じ環境（教室）で生活しています。教室内の掲示物などは別にして、誰もが自分の力で行わなければならないのが、個人に与えられた机やロッカーの片付けや整理整頓です。これが自宅であれば、小さい頃は自分の机の上だけ、そしてだんだんと机のまわりへ、さらには部屋全体にその片付けの範囲は広がっていくのでしょうか。しかし、学校ではどうかと言いますと、上級生になれば机やロッカーがよりきちんと整理整頓されているということになっていないのが現状のようです。低学年の頃はできていたことが高学年になるとできなくなるのでしょうか。それとも、その必要性を感じなくなるのでしょうか。案の定、片付けや整理整頓が不十分な子は授業の準備が遅く、準備できないものがあると「忘れました」ということになってしまうことさもあります。

この片付けという作業は、遊びと勉強の切り替えをはっきりさせるためにも欠かせないものです。勉強しているときに、机の上に遊びに使うようなものがあれば当然気が散り、勉強に集中できなくなるでしょう。また、筆箱の中に鉛筆ではあっても実際には遊び道具になっているものが入っていても同じことになるでしょう。

使ったおもちゃを片付けさせるという小さい頃に身につけたよい習慣の延長上にあるものとして当然子どもに身につかなければならない力、それが片付け・整理整頓の力であると考えます。お子さんは今どのレベルまで到達しているでしょう。

【「集中して！」と言うけれど】

「集中しよう」という声かけをときどき耳にします。私も朝会で話をするとき、「皆さんの顔が見えるといいですね」などと言いますが、これも同じことです。

昨日の朝会では子どもたちの素晴らしい姿を見ることができました。それは、私の話の後に行われた合唱部の歌の披露のときのことでした。子どもたちの目は自然にステージへ、それも普段よりもその目には力が感じられました。私も合唱部の発表のようにはいかないまでも、子どもたちの目の力を感じるような話ができるように努力しなければならぬと感じた朝でした。

さて、保護者の皆さんからもときどき「うちの子は集中力がなくて・・・」というような話を聞くことがありますが、それは本当なのでしょうか。これは「集中できるものが何もない」ということではなくて、たとえば「勉強に集中できない」とか「読書に集中できない」というように特定のものに集中できないことがあるということなのでしょう。好きなことや興味のあることには誰よりも集中できるという立派なところがあることを忘れないでください。集中させる工夫も大切ですが、好きなことを増やしてあげる工夫も大切です。まわり道のように思われるかもしれませんが、先のことを考えれば決してそうではないはずです。